

環境に係る情報協議会 国営施設応急対策事業 お茶の水地区

1. 環境に対する考え方

(「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」及び
「江別市田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【現 状】

岩見沢市西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚介類をはじめ水生植物も豊かである。

江別市における石狩川と野幌原始林は豊かな自然の恵みをもたらしている一方で、災害のほとんどが石狩川を始めとする河川の氾濫によるものである。

【課 題】

岩見沢市は、河川整備によりかつてはいたるところで見られた「イトヨ」などが減少しており、今後は環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

江別市の自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り込むことが課題である。

《環境保全の基本的考え方》

○山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

○生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。

(岩見沢市田園環境整備マスタープランから)

○緑地などの緑や樹林地、水辺等の自然景観や良好な自然環境の保全に努める。

○防風林・保安林の保全のために適正な管理を図るとともに河川などの自然に配慮した河川環境の保全に努める。

(江別市田園環境整備マスタープランから)

2. 環境配慮計画

《基本方針》

本地域は石狩川沿いの自然豊かな田園環境を有しており、本地区の排水施設周辺には希少種を含む多様な動植物が生息・生育している。

したがって、本事業における工事の際にはこれらの生物の生息・生育環境の保全に努める。

《取組内容》

【生態系への配慮】

・施設を改修する際には、下流河川の魚類等の生息環境に配慮し、濁水流出の防止に努める。

・周辺に生息する生物に配慮し、低騒音型施工機械を使用する。